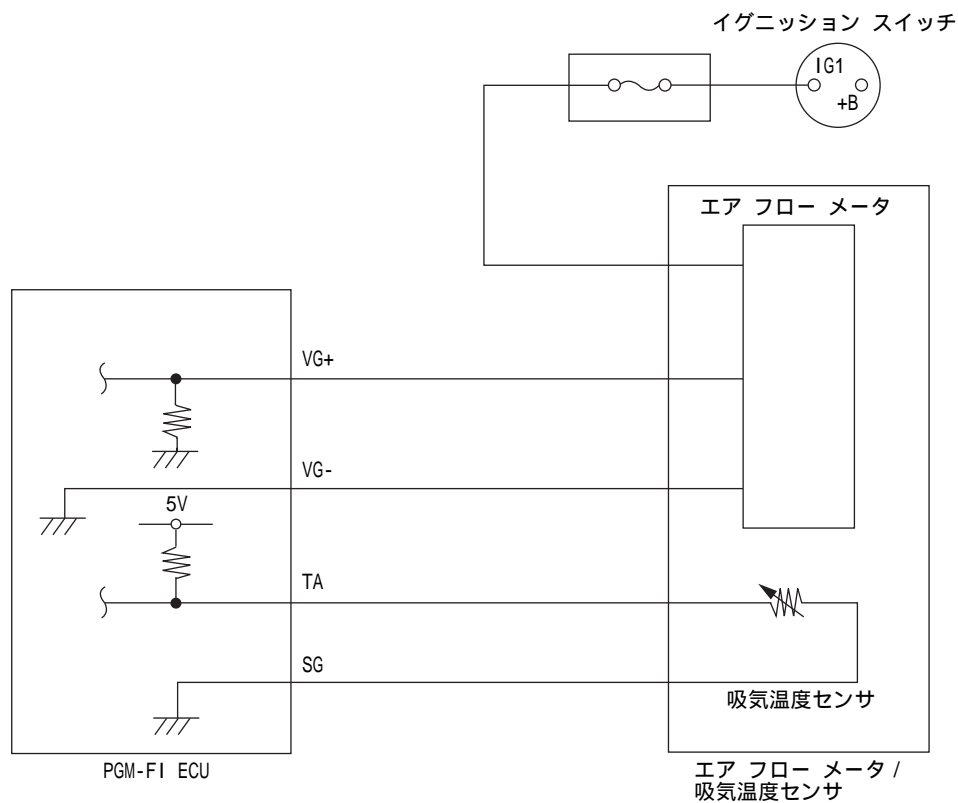


DTC 解説

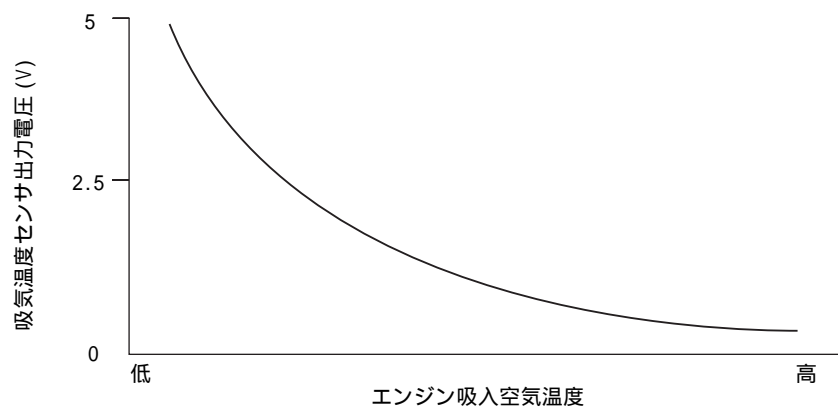
DTC P0112: 吸気温度センサ電圧低い

検知原理解説



01_P0102C_TM8A00

吸気温度センサ出力電圧



01_P0112G_TM8A00

DTC 解説

吸気温度センサはサーミスタを使用しており、吸入空気温度を検出し、温度による空気密度の変化を補正するために使用されている。

吸気温度センサは、温度により電気抵抗が変動する。吸気温度が下がると電気抵抗は増加し、PGM-FI ECU は高い電圧を検出する。吸気温度が上がると電気抵抗は低下し、PGM-FI ECU は低い電圧を検出する。

吸気温度センサ出力電圧が、所定値以下の状態で所定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	2.0 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
イグニッション スイッチ	ON(I I)
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0113

故障判定基準

吸気温度センサ出力電圧 [吸気温度センサ] が 0.08V 以下の状態で 2.0 秒間以上継続した場合。

[]: HDS パラメータ

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU と吸気温度センサ間コード (TA ライン) の地絡
- ・ 吸気温度センサの故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。